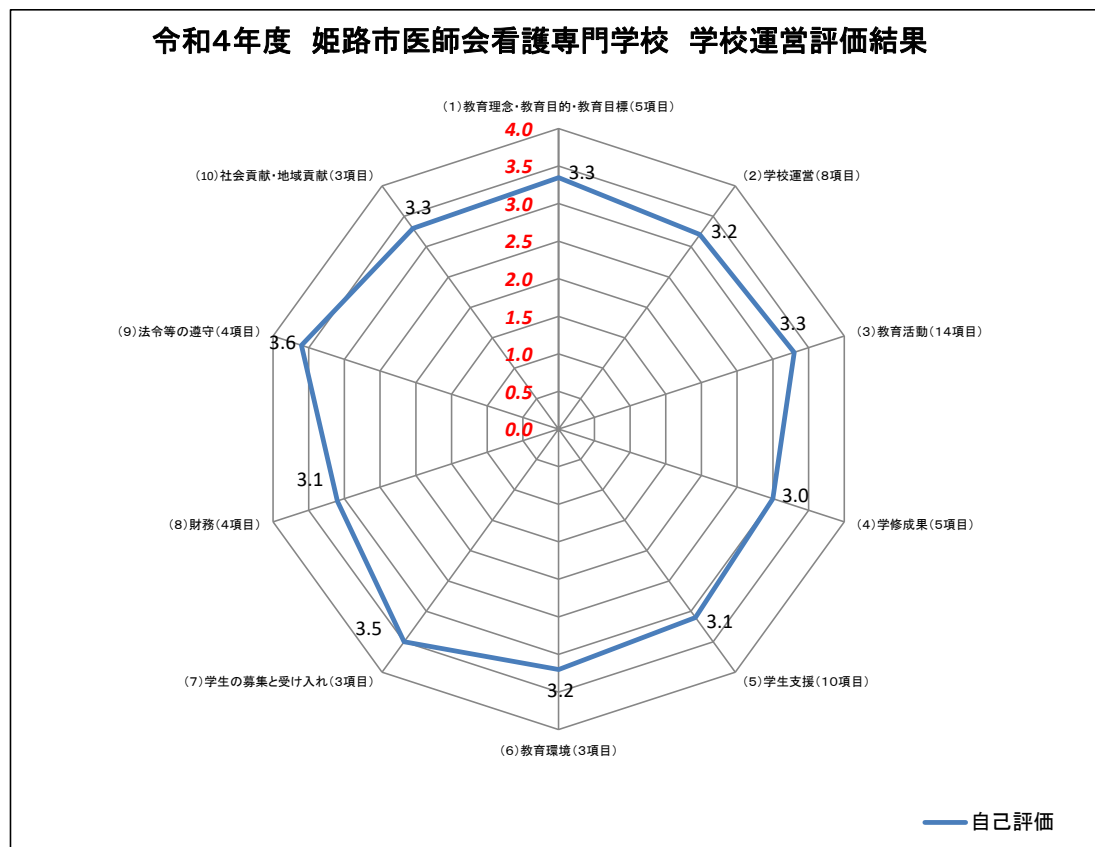


学校評価（自己評価・学校関係者評価）

1 学校運営評価結果（令和4年度）

評価項目	自己評価
(1) 教育理念・教育目的・教育目標(5項目)	3.3
(2) 学校運営(8項目)	3.2
(3) 教育活動(14項目)	3.3
(4) 学修成果(5項目)	3.0
(5) 学生支援(10項目)	3.1
(6) 教育環境(3項目)	3.2
(7) 学生の募集と受け入れ(3項目)	3.5
(8) 財務(4項目)	3.1
(9) 法令等の遵守(4項目)	3.6
(10) 社会貢献・地域貢献(3項目)	3.3
平均	3.3



2 授業評価結果（令和4年度）

学生による授業評価アンケートにより 17 項目について 4 段階評価
(旧カリキュラム)

【基礎分野】 2 講師 各項目 3.5～4.0

【専門基礎分野】 3 講師 各項目 3.2～4.0

【専門分野Ⅰ】 4 講師 各項目 3.1～4.0

【専門分野Ⅱ】 33 講師 各項目 3.2～4.0

【統合分野】 9 講師 各項目 3.1～4.0

(新カリキュラム)

【基礎分野】 11 講師 各項目 3.4～4.0

【専門基礎分野】 38 講師 各項目 3.1～4.0

【専門分野】 19 講師 各項目 2.7～4.0

3 学校関係者評価

令和5年4月20日（木）に、学校関係者評価委員会（教育関係者、実習病院関係者、卒業生、地域住民で構成）を開催し、令和4年度自己評価や授業評価結果に関して意見を聴取した。

（主な意見）

- ・大学志向が進み、多くの学生が大学にブランドイメージを持っているのを実感しているが、受験者数を確保しないと質の担保も困難となるため、受験生の確保が当面の課題である。
- ・受験生の確保では、試験実施日の設定について他校の日程も考慮するとともに、地元の高等学校等を卒業し地元の医療機関に就職でき、その就職率も高く、医療機関にとっても頼れる存在であることをもっとアピールすべき。
- ・トライやるウィークで病院を希望する生徒が多いと聞くが、トライやるの受け入れも含め、本校のPRの対象を中学生へも広げてはどうか。
- ・指定校推薦制度を設ければ、確実な入学が見込める。医師会としてより広範な地域からの受験生確保を想定してはどうか。
- ・私立大学の選択は学費が保護者に重い負担となる。高等学校を選択する段階から専門学校との優位性について意識改革に取り組むとともに、奨学金も長期間返済が必要なことをアピールすべき。
- ・3年間のカリキュラムはハードだが、同じ国家資格を取得して看護師として1年でも長く勤めることができること、医師会立であるため、様々な医療機関で実習でき、就職先の選択肢が増えることが強みである。一旦就職し、その後転職することになっても、かつての実習経験がある病院が選択されることが多い。
- ・看護専門学校は、入学した学生が国家試験に合格し、看護師になることが

最大の目標であり、受験生の合否判定の見極めに当たっては、その根本を大事にしていきたい。

- ・ 医師会立の専門学校は地元に着しており、地元へ人材を供給できるメリットがある。

4 今後の改善方策

- ・ 本校の理念、教育目標等については、HR等の時間やガイダンス、SNS等の様々な機会や手段を活用し、周知に努めていく。
- ・ 各種のデータ整理や会議資料等のペーパーレス化、Zoom 会議の活用等について、デジタル化、IOT 化により業務の効率化を進めていく。
- ・ 教職員の計画的な確保に努めるとともに、必要な研修を行うことにより教育指導体制の維持に努める。
- ・ 再評価者等については面接等により学習状況を的確に把握し、効果的な個別支援を続けていく。
- ・ 高い国家試験合格率、低廉な学費や市内を中心に多数の実習先を確保できるなど、地元出身者が多い医師会立の本校の特徴をさらにアピールしていく。
- ・ 学校説明会やオープンキャンパスの実施回数を増やすとともに、内容も含め、さらなる充実を図り、受験生の確保に努める。
- ・ 経済的困窮学生の修学を支援するため、高等教育修学支援新制度や教育訓練給付制度の適切な運用に努めるとともに、引き続き制度の周知を行っていく。
- ・ 授業料のあり方や新たな財源の確保等について検討するとともに、経費削減にも努めていく。
- ・ ウイズコロナ時代に適合した社会、地域貢献活動を進めていく。